

エリアとくらそう

第15号 2012年5月

発行：社会福祉法人
時津町手をつなぐ育成会
西彼杵郡時津町西時津郷 1156
：095-882-7585
<http://www.togitsu-ikuseikai.jp>

～音楽は心のごちそうです～ スペシャルコンサート

掛屋剛志さん・吉田正則さん＆阿野桂子さん
4月29日・とぎつかナリーホール

2年ぶりにお楽しみのコンサートが帰ってきました！

今回は、おなじみのルクレール吉田正則さん阿野桂子さんに加え、佐世保市の掛屋剛志さんにご出演いただきました。

エリア21では練習も3回あり、司会の池田いづみさんはじめ、協賛各社の方もお見えになり、一緒に歌ってくださる場面もありました。今回は利用者みなさんも難しい曲にチャレンジしましたが、練習を重ねるごとにはっきりと大きな声が出せるようになり、本番では、みんなこの歌が好きなんだな～と気持ちが伝わるほどの出来栄でした。

大きなホールでのコンサートで、お客様がたくさん集まるか心配でしたが、みなさまにお手伝いもしていただき、当日は400名を超える大盛況ぶり。障がいの有無にかかわらず、多くの方と楽しいひと時を一緒に過ごすことができました。協賛はじめ、ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



作業室 増築しました



作業室の中に
引き戸と新しく階段が...



新しく増えた作業室です↑

そんなこんなで、ようやく3月に新作業室が完成。

こちらは男子更衣室も隣接しており、日当たりも抜群。少し広めになったスペースでより作業しやすくなったようです。ギャラリーの方もレイアウトを一新、レストラン一層メニューに気合が入っています！ 作業室入口、屋根も付きました→

国の補助金をいただいて、手狭気味だった作業室の増築にとりかかったのが、1月。それからはギャラリーもレストランも配達弁当も一時休業、お客様・利用者さんにも長い間ご不自由をおかけしました。職員の方も、顧客離れにつながらないよう、合間に営業活動をしたりと、みんな慣れない日々が続きました。工事で作業ができない時はエリア21のバスであちこち外出する日が増えて、利用者さんはちょっとお楽しみだったかも...(*^_^*)



時津町海と緑の運動公園で開催された大会のミニ駅伝部門に今年も出場しました。この日は快晴ながらも冷たい風が吹き、じーっとしているのは寒い朝でした。

今年の精鋭は石橋君・加藤君・谷川君・谷山君・三岳君と、補欠ならぬ女子マネージャーとして(?)岩田さんも万一の選手交代に控えました。

年々増えるコスプレランナーですが、スタートするとみなさん真剣勝負！エリアチームはマイペースを貫き、敢闘賞をいただきました。また来年楽しみましょう～♪



チームワークで
敢闘賞獲得！！

眩しい日差しに若干しかめっ面...(笑)

激走！
時津町民
ロードレース
11月18日

育成会・施設見学会

「社会福祉法人みのり会・平山友愛園」

～ 研修部主催 ～ 11月7日



平日にもかかわらず総勢 19 名の参加者があり、長崎市平山町まで向かいました。広大な敷地内には児童養護施設から始まり、障がい者入所施設、支援施設、多機能型事業所(＝平山友愛園・就労移行支援、B 型)、宿泊型訓練、共同生活援助等の施設があり、歴史とともにニーズから大規模化していった印象を受けました。

高西施設長さんとグループホーム管理者の本村さんの案内でさっそく園内を見学させていただきました。高西施設長さんによると、明治 34 年の育児所からはじまり、昭和 36 年に社会福祉法人みのり会創立。

106 年の歴史があり、長崎市と時津町で、21 事業を展開、458 名の職員が所属されているそうです。

別館 にパン工場、別館 1 階にプレス班(洋服の仕上げ)・ランチ(弁当)班・2 階で軽作業(縫製)班の作業を見学。他に絨毯等のクリーニング作業もあり、夏場がクリーニング、冬場は配布に回っているそうです。現在の利用者数は就労移行が 6 名、B 型 60 名の 66 名定員。

また、十人町にあるグループホームについての説明もありました。まずは、地域の中で認めてもらうことから始めていこうと、地域の清掃活動や行事等、町と一緒に活動をしているそうです。

長崎市育成会も十人町に GH があり、法人が違って同じ町にいるなら、一緒にやりましょう！と合同行事も開いています。地域に根付くことが最も大事で、同じ生活をしていくことを大切に活動しています。GH を一時避難場所として提供した避難訓練もやっており、お年寄りの方も「助けてほしい」という気持ちがあるので、町の方と一緒に安心安全なまちづくりに努めているそうです。

その努力の甲斐あって、前は「みのり会さん」と呼ばれていたのが、今は「○○さん」と名前と呼ばれるように。GH 等を使用しながら「利用者の方が自立できるよう」支援する、法人の理念である「利用者のために」を第一に考えて支援しています、とのことでした。

いろんなこととお尋ねしました～Q&A～

(以下略語:GH→グループホーム サビ管→サービス管理責任者)

Q. →利用者の方の訓練期間はどの位？

A. →個人差があるが、3カ月から3年かかる方もいる。本人に責任を持たせ、「どの担当にしたら集中できるか」「この人はこの作業が出来る」等利用者に合わせて作業を割り振っている。

Q. →利用に年齢制限があるのか？

A. →現在の最高年齢 63 歳。作業が出来なくなったら、介護保険を使うなど、その方に合わせたサービスを考える。GH も同様で、GH での生活が無理かな、となってきたら、老人向け施設等に変える等考えるが、老人の GH はまだ作っていない。自治会の理解が難しい面があり、地域の了解を得ないと色々な問題が出てくる為、進んでいない。三和荘という老人ホームは開設している。

Q. →急患が出たときの対処法がどのようにしているか？

A. →ほとんどないが、理事長が医師なので何かの時は対応されている。
また、協力医療機関、市民病院、十善会病院もあるのでそこで対応。

Q. →入所の方を親元に帰すということがあるのか？

A. →“親がいない”ということを前提にしているので、親元に帰すという認識はない。できる限り職員の中で、世話人等で対応。

担当や個人情報等の問題を乗り越えて全職員集まって「どのようにするか」等何かの時に対応できるようにしている。利用者にとっては生活の場なので、できる限り対応し、一番生活したい環境をつくるよう心掛けている。

Q. → 土日はどのように過ごしているのか。帰省しているのか。

A. → 盆、正月は帰っているが、土日に親元には帰ることはほとんどない。

利用者の 85% は一般就労。休みの日は活動している。(十人町から丸山まで清掃活動等)

土日は休みということではなく、年中誰かがいる状態。利用者と管理者等で話し合っ、GH でもイベントをしている。

Q. → GH 世話人の他、従業員はどのようになっているか。

A. → 世話人の方は 25 名の GH に 5 名(常勤・非常勤、他に管理者・サビ管・事務員)。

Q. → GH の体験利用はどうなっているか？ また、GH からは何名通勤しているのか？

A. → 体験利用はない。15 名定員の短期入所がある。

6 名が GH から通勤。ほとんどは自宅から。時津から通所されている方もいる。その方は県庁までバスで来られ、そこから送迎バスを利用。

Q. → GH 利用者の中で成年後見をつけている方は？ また、身寄りのない方の財産管理は？

A. → 半分はご両親がいらっしゃらない。成年後見利用者は 2 名いる。保佐でつけている。

また、財産管理、年金管理は法人で行っている。世話人、サビ管、事務等 4 名位で対応している。

小遣い帳は毎日確認している。

内容を身内に教える方、教えない方いらっしゃる。(以前、身内でも利用者の方の財産を利用する等トラブルもあった) “利用者を法人で守ってあげる” という姿勢を大事にしている。

Q. → GH の利用者は年金のみで生活できるのか？ 住民票は？

A. → 光熱費 10,000 円、食費 20,000 円、家賃 0 円(家賃補助を受けて)なので、生活できる状況。

日用品費は各自で準備し、トイレトーパー等は施設の経費で購入。利用者の住民票は GH にうつしている。

Q. → 夜間に職員は常駐しているか？

A. → 夜間支援はしていないが、管理人室にインターホンを設置している。また近くの職員も対応できるようにしている。

Q. → 身寄りのない方などいらっしゃるのか？ そういう方が亡くなった時は？

A. → 法人で葬儀を行った。他、利用者のご両親が亡くなった際も、葬儀を法人で行ったこともある。兄弟でも拒否される方もいらっしゃる。

Q. → 投薬管理は？ また、てんかん発作等の対応は？ (入浴中等)

A. → 投薬管理の研修の上、行っている。事務所で管理し日付などを記入、それをサビ管から世話人へ渡している。病院への付添も世話人やサビ管等職員が付き添っている。

てんかん発作等の対応では、お風呂に入るとき、「お風呂に入ります」と声をかけてもらっている。

あまりにも長かったら様子を見るようにしている。

挨拶を基本としており、ルールは守るよう支援している。今のところ、ケガ等はない。

Q. → 職員の出入りはどうか。

A. → 職員の出入りはもちろんあるが、職員の話聞くようにしている。「この作業をしたい」等希望の声を聞いてあげるよう、心がけている。法人内の異動はあるが、本人ががんばれる環境を作るように努力している。



参加されたみなさんから感想をいただきました



● 106 年の歴史の重みと規模の大きさに驚きました。障がいのある人のあらゆるニーズに対応できる組織作りがなされており、親の立場としてはありがたいと思いました。

● かなりの年数を経た施設と見て、驚いている次第です。

家庭科からクリーニング部まであり、保育園から老後まで見て貰えるなんて、障がい者の楽園地に見えてなりません。保護者の皆さんが羨ましく思っている事と私は感じています。当育成会は未だ若いし、今から大きくなっていくと信じ、関係者全員で協力して施設・ホームも増やし、我々の老後も安心して当育成会にお任せ出来る事をお願いしたい気持ちです。

- 活動内容の豊富さ、高度さに驚いた。子どもたちには未知の世界があることを知らされた。元々医師が障がい者のために立ち上げた施設であるため GH の基本的な考え方がしっかりしていた。スタッフも多く、しっかりした指導をしているようであった。子どもたちの活動を理解してもらうため、地域での行事、活動に積極的に参加、協力しているとのことの良いことだと思った。
- 第一に感じたことは歴史の古さ、規模の大きさ、利用者の数の多さですが、印象深かったのは、それぞれ障がいの程度に合った施設、作業場があり、利用者が無理なく、それぞれ自分に合った作業が出来ているという点です。もちろん、歴史も浅く、規模も小さいエリア 21 との比較は出来ませんが、今後少しずつでも能力に合った作業量（職種）を増やしていけたらと思う。
GH 入居者の管理面でも病気等のいかなる事態が起きても何時でも対処できるように管理人（世話人）を夜間は常時置き、かかりつけの病院との連絡を確立してほしい。（ドリームでは夜間常駐しています）
- 初めて見学させていただきましたが、組織の規模の大きさ、歴史の長さ、福祉の活動に対する取組、姿勢など、いろんな面で参考になりました。
特に、児童養護施設から老人ホームまで、その人の一生をサポートする体制、また、担当者からの話の中で、身寄りのない人へ対する支援活動に関する事など、すごく感心させられるものがあり、私たちの育成会としても学ぶべき事がたくさんあると思いました。
今回の研修会も、とても有意義なものだったと思うので、また、今後もいろんな見学会を含め、企画をしてほしいと思います。



平山友愛園を見学させていただいた後は、伊王島へ渡り昼食会。会員同士の親睦も深まりました。

今回残念ながら参加できなかった方も、次回は是非ご参加ください！

平山友愛園のみなさま、ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。

おめでとう！岸部君 優秀勤労障がい者 知事表彰



左から理事長、岸部さん、お父様

会員の岸部さんが、職業人としての技能を生かし業務に励んだ努力を認められ、優秀勤労障がい者賞を受賞されました。理事長の推薦文をもとに、岸部さんのお仕事をうかがってみましょう。

～理事長の推薦文～

岸部君は毎朝 6 時 50 分には家を出て住吉乗り換えのバスにて三ツ山の職場（特別老人ホーム“ときわ荘”）まで通勤しています。勤務時間は 8 時 30 分から 15 時 30 分までで月 20 日の出勤です。休日は日曜日と他 1 日の原則週 2 日です。正月以外、連休はほとんどありません。

仕事内容は玄関ホール、各階の廊下の掃除機かけ等が主な仕事で、他に最終水曜日は恵みの丘バス停の清掃があります。ときわ荘の西山施設長の話では「真面目によく働いている。指示がなくても自分の仕事をきちんとできるし、トラブルはない。人との関わりが上手で利用者の皆さんにも人気がある。」とのこと。

ときわ荘職員の忘年会にも誘われ毎年出席、利用者さんからもよくお菓子を頂いたり、西山施設長さんからはお歳暮、お中元のお裾分けを毎年頂くとか。平成 23 年には勤続 10 年の永年勤続表彰を受けられました。

平成 23 年 12 月 29 日、私は母の介護の関係で偶然、岸部君の仕事場を訪ねました。対応された施設長さんから「私の施設にも知的障害者の方が勤めているんです」と言われ、「ひょっとして岸部君ではないですか」とお聞きしました。「そうですけど、お知り合いですか？」「良く知っています」と...

施設案内の途中、一生懸命室内清掃に汗を流している岸部君の姿を眼にしました。普段は愛嬌を振りまき陽気な性格の岸部君の姿しか知りませんでしたが、仕事場でテキパキと受け答えをして毅然とした姿が印象的でした。この広大な施設の清掃を一手に任され、雨の日も風の日も休まず通う責任感の強い青年。偶然にもこうした機会を得たのも何かの導きではないかと、私からも推薦させて頂きました。（推薦文より抜粋）

岸部さん、受賞本当におめでとうございます。これからもお仕事に励まれてください！

サンタさんありがとうございます♪



昨年 12 月 22 日(土)、時津町総合福祉センターでクリスマス会を開催しました。

大学生ボランティアスタッフや、余興披露のサークルのみなさま、地域の方々にもご参加いただき、レクレーション、手作りカレーやケーキで楽しいひと時を過ごしました。今年は夢彩都のお菓子売り場からサンタさんも訪れ、利用者さんや会員に高級チョコレート詰合せが配られ、みんな大盛り上がり！ありがとうございました♡

参加された感想を伺いました♪～池田さん親子～

クリスマス会で楽しかったことはクリスマスの音楽で、1 曲目は坂本九の「見上げてごらん夜の星を」2 曲目は「赤鼻のトナカイ」3 曲目は「きよしこの夜」を聞いて懐かしい名曲だな、と思いました。(達樹君)

親子そろってエリアでの初めてのクリスマス会でしたが、準備段階からとても楽しく過ごせました。和気あいあいと冗談あり爆笑ありで作ったカレーやケーキのレベルの高さに感動し、これがお母さんたちの愛情なんだなと思わずにはいられませんでした。今度のクリスマス会も楽しみです。(お母さん)



おしゃべり会が開かれました ～4月16日(火)フレンド～



いろんな話で盛り上がり、たくさん笑いました♪

同じ育成会のメンバーですが、イベントや行事で集まることであっても、作業や係の仕事に追われたり、なかなかゆっくり話す機会也没有ですね。

そこで、会員同士が集まって、悩みを共有したり、疑問に思っていたり、情報が欲しくてもなかなか尋ねられない...そんなことをざっくばらんに話せる場があれば！との思いから、ただしゃべるだけ♪の「おしゃべり会」を開催してみました。

平日のお昼間開催で、お仕事がある方などには申し訳なかったのですが、第1回目のこの日はフレンドに15人ほどが集まり、育成会職員として参加された岸部希さんにも、みなさんの日頃の思いを聞いて頂きました。

お茶を飲み、お菓子をつまみながら、みなさん、最近気になっていることなどを少しずつ話し出されると「そうそう、私もそがん思いよったとよ～」「そいと、こげんことも気になってるとさね...」といろんなことに話題が広がっていきました。

先日平山友愛園の見学会が刺激になり、「これからの会の活動で取り組みたいこと」や、「次はどこに見学に行こうか...?」また、職員の方も新しく入られるなど、エリア21の変化も大きくあったので、「保護者や会員と職員さんの親睦会を開きたい...」行事の度に集まる人は決まっていますが、なかなか顔を合わせる機会のない「会員さんがもっと参加しやすいような方法はないか...?」など、多くの話題が出ました。

中では「エリア21の連絡帳」の話になった時、「学校の延長で、毎日書かなくちゃと思って書くこともないのにひねり出して書きよつ」と言う方がいて「はあ?!毎日書きよつと～?なんか用事とか、特別伝えることのあつときしか書かんば～い?」「ええ?!うちだけやったと～!?!」とみんなで爆笑...(*^_^*)

こんな風に話す場を設けたことで初めてわかった、おもしろいこともありました。

1回目はこのように、とても気軽に楽しい会でした。今後も定期的開催し、会員同士の交流や悩み事、疑問、情報、アイデアなどの共有と学び合いを図っていけたら...と考えています。

途中からの参加や、退出も OK です！お茶飲みだけでも！

次回... 6月18日(火)10:00～12:00 野田郷 フレンドにて

(今後は偶数月の第3火曜日 10:00～12:00 に開催予定) **ご参加、お待ちしております♡**

おつかれさま
でした！

ゆうあいスポーツ大会

5月12日(日)
陸上自衛隊大村駐屯地



晴天に恵まれたこの日、日中最高気温は 26 度。それでも日陰に
いれば春らしい風が吹く、絶好の運動会日和でした。

約 10 年ぶりの駐屯地開催で、ここに来るのが初めての方も多く
いらっしゃいました。広大な敷地内にはクレーン車やパワーショベル、
ヘリコプターや戦車まであり、あちこちに迷彩服の自衛官の方が...
めったに見られない駐屯地の様子も面白かったですね。

開会式では最後のチームとして入場。待ち時間が長くて
大変でしたが、競技は順調に進み、みなさんエントリーした種目で
がんばりました！

楽しいお弁当の後は、最後の種目「育成会対抗リレー」。
今回は市川さん・岩田さん・加藤君・谷山君・増山君と職員の鰐口
さんがチームとなって激走！なんと堂々の 3 位を獲得しました！

同窓生や他の事業所・育成会の方々とも交流できる年に 1 度のお
楽しみ。来年もみんなで楽しく参加しましょう！テントの後片付け
など、お手伝いいただいた保護者の方々、ありがとうございました。



どうぞよろしく
お願いします

新入職員さんご紹介

ご挨拶と食べ物の好みについて伺ってみました♪



くす もと たか こ
楠本 貴子さん

「昨年 12 月より支援員として
お世話になっております。
やっと少しは慣れたかな～
と感じている今日この頃で
す。」

まだまだ至らぬ点ばかりですが、今後とも皆様のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。」
「好き嫌い多いんですよ～(>_<)カニとか牛乳とかグリンピース、小豆...すみません、利用者さんに食事指導はできません～(笑)」



にし かわ か おり
西川 香織さん

「3 月より支援員としてお
世話になっております。
利用者の方々に、「今日もエ
リア 21 に来て充実した 1 日
が過ごせた！楽し

かった！」と思っていただけのような支援を目指していきたくと思います。よろしくお願い致します。」
「好き嫌い...嫌いなものはないですね～。何でも食べられますね。特に好きな食べ物はセロリなんです♥」



ふる もと たけ し
古本 武史さん

「初めまして。3 月から働か
せていただいています、古本
と申します。」

今年で 40 歳となり、利用者
のみなさんの若さに

多少圧倒され気味ですが、負けないう頑張ります。まだまだわからないことが多く、至らないところも多々あるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。」
「好き嫌いはないですね...。あえて言えば、食べたことないけど挑戦したくもないのはピータンです(笑)」



うめ つ え み
梅津 恵美さん

「4 月 22 日よりみなさんと
一緒にお仕事をさせていただ
いています、梅津恵美で
す。まだまだ慣れていないこ
とが多く、皆さんに

助けてもらってばかりです。一日一日の積み重ねを大切に、頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。」
「好き嫌いですか？う～ん、嫌いな物、ないですね～。すごく好きなものなら、甘いものです♥でも 4 kg 太っちゃったので、ただ今ダイエット中です(>_<)」